

根域空気供給機の効果確認試験

JA東旭川

長谷川 遼



試験目的

根域空気供給機の効果確認

試験作物
及び品種

花卉(スターチス)

試験資材
及び数量(規格)

灌水資材ロッキィ/ブルー

慣行資材

なし

栽培方法

収穫日
10月後半まで

資材使用期間

6月中旬～8月中旬

試験区面積

間口6.3m×40m

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

灌水チューブに接続して使用を行った。

作業時間が増えた印象はなかったが、水圧が足りなかったためか、ハウスの奥側の水量が少なくなるなど、均一な灌水が出来なかったため、灌水量が増える時期には外して使用した。

設置作業などについては問題なかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

夏場の低温や、日照不足などの影響かもしれないが、生育差は見られなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】：水圧が弱くなる点。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特に問題なし。

(5)雑草・病害虫の発生について

病害虫、雑草ともに差は見られなかった(病害虫は例年に比べると少ない年だった。)

モニター感想

今年の天候の影響かもしれないが、慣行ハウスと比較して生育差、収量差は見られなかった。

野菜と比較すると効果が出にくいのではないかと来季も継続して使用し、様子を見ようと思っている。

JA担当者の感想(生産資材機械課 谷課長補佐)

今回の試験は判然としない結果となったが、来年度の様子を見たい。

良い資材だとは思いますが、水圧が弱くならないようになれば普及も進むのではないかと感じる。

今後の使用について

改良して欲しい。
水圧が弱くならないような工夫が必要だと思う。
価格面についても、もう少し下がれば、普及し易いと感じる。

1 栽培システム

2 栽培システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 除菌資材

9 ICT機器

10 その他